

2021年8月7日 阿弥陀岳 南稜→中央稜

メンバー：谷内、野中、岩田（記）

私（岩田）がしらびそ山の会に入る目的の一つでもあった、憧れの阿弥陀南稜へ連れていただきました。

舟山十字路から、立場山経由、阿弥陀岳南稜 P3 ルンゼにて、ロープを用いた安全確保手順の訓練を実施。下りは中央稜から舟山十字路へ下山しました。

これまで自己流の登山を続けてきましたが、雪山やバリエーションルートは素人が近づいてはいけないと考え、憧れのまま遠ざけていました。昨年秋、そんな壁を越えようとしらびそ山の会へ入会しました。入会の目的の一つであるバリエーションルート、その中でも何度も山頂から眺めて憧れていた阿弥陀岳南稜へ行くことができました。

舟山十字路から立場山経由、まずは遠くから見ていた青なぎへ。近くで見ると普通の木の生えていない斜面でした。無名峰から P1 下部へ。ここでヘルメット、ハーネスを装着し、P1、P2 を左から巻き、核心の P3 ルンゼでは、ロープを出し、野中さんがリードで登り、フォローで確保いただきながら登る手順を学びました。

しかし、現地では、これまでできていた結びやロープの束ねが頭からするっと抜け落ち、体で覚えるまで練習が必要であると痛感しました。

P4 を超えて阿弥陀岳山頂へ。

これまで、南稜から登ってくる人を憧れの目で見ていましたが、ついに自分が登れました。

山頂で小休止の後、天候の悪化も懸念されるため、速やかに下山。下りも初めての中央稜へ。中央稜は短距離で谷筋まで降るため、急峻でとても疲れしました。

南稜、中央稜ともに高山植物が豊富で、いつも御小屋尾根から登る阿弥陀岳とはまた違う一面を見ることができました。



【コースタイム】

- 舟山十字路 5 : 25
- 尾根上 6 : 00
- 青なぎ 7 : 30
- 無名峰 8 : 00
- 阿弥陀岳 9 : 40
- 中央稜取付 11 : 05
- 舟山十字路 11 : 50